

ハウレーカ!

なるほど、そうか

第44回

セントアンドリュース・リンクス ビジネス大研究

— ゴルフの聖地の今2019~2023をのぞいてみた —

喜田任紀



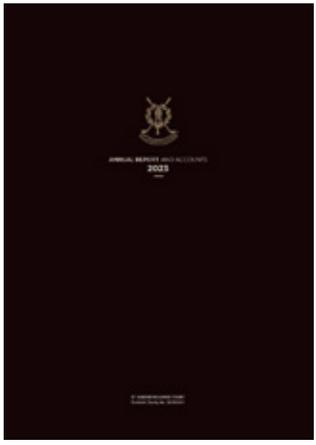
一度はラウンドしたいゴルフコースといえば、そのリストにはセントアンドリュース・オールドコースの名前が書かれていることでしょう。一般のゴルフアーは、オーガスタ・ナショナルは、多分、ラウンドするチャンスは皆無といつてよいかもしれません。オールドコースはプレーできません。

オールドコースを運営するのはセントアンドリュース・リンクス・トラストです。同トラストはオールドコースを含めて7コースをスコットランドの北海に面したファイフの海岸沿いに

ST ANDREWS LINKS TRUST	Holes
オールドコース (Old Course)	18
ニューコース (New Course)	18
ジュビリーコース (Jubilee Course)	18
エデンコース (Eden Course)	18
ストラシュティラムコース (Strathtyrum Course)	18
キャッスルコース (Castle Course)	18
バルゴーフコース (Balgove Course)	9
Total	117

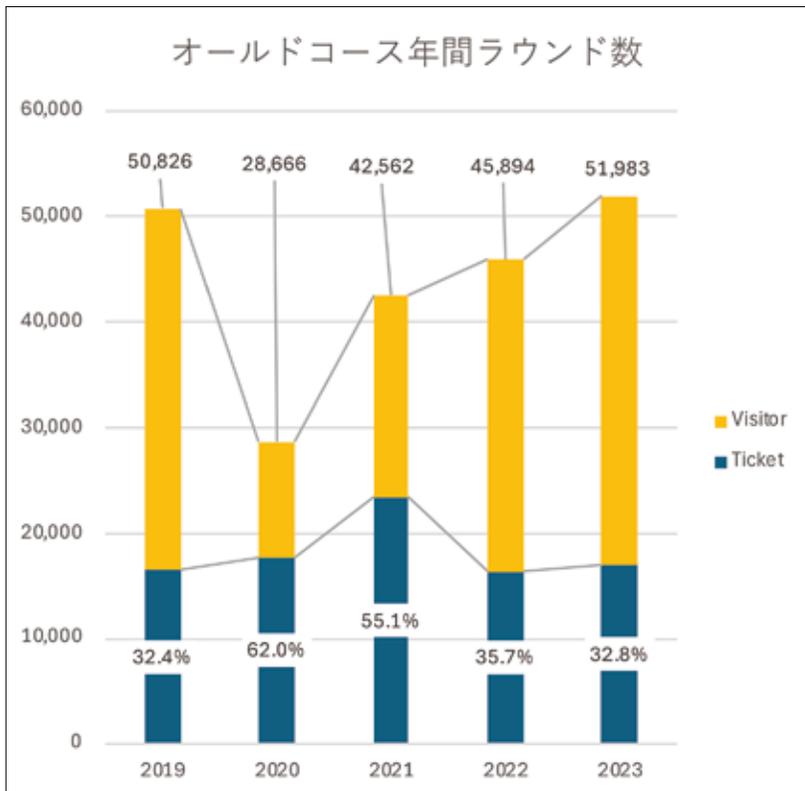
管理、運営しています。今回は、トラストの運営状況から英国でのゴルフ事情を探ってみたいと思います。COVID-19によるロックダウンから急速に回復してきた英国のゴルフ事情がトラストの経営数字からも確認できます。

オールドコースの年間利用者数



スウィルカン・ブリッジで記念写真を撮りたいと思っている人は多いでしょう。そんな思いのゴルフアーが年間で何人ラウンドしているのか？ トラストのアニユアル・レポートによると、2023年にオールドコースでプレーした人数は5万1983人でした。次頁に2019年以降のプレー人数をグラフにしました。日曜日に営業していません。この人数です。フル営業ならあと1万人は入っていると考えられますから、年間6万人規模は結構入っているという感じ。やはり超人気のゴルフコースですね。

グラフにビジターとチケットの区別がありますが、チケットは年間チケットを持つ Links



「Ticketholders」の利用人数で、ビジターはチケットホルダー以外の、トラストの公式サイトからの予約者とポールのシステムと呼ばれている予約が取れなかった人で、プレー希望日の2日前にポールの「抽選」に参加してスタートが取れた人（2人から

4人のグループで参加可能」と、パッケージツアーで予約、ラウンドした人数です。

チケットホルダーの利用は、全体の32・8%、23年は1万7064人でした。残りの67・2%がビジター利用者で、人数は3万4919人でした。ところ

で、2020年のCOVID-19によるパンデミック時には英国ではロックダウンが実施され、不要不急の外出が禁止され、ゴルフコースは2カ月ほど閉鎖が続き、多くのコースでスタッフの一時解雇も行われました。この状況が利用者数のグラフにもはつきりと表れています。

2019年の利用者数は5万8266人ありましたが、20年は2万8666人と6割近い（56・4%）減少になっています。ところがチケットホルダーの利用は逆に8%増えて1万6443人から1万7764人へと増えています。チケットホルダーのこの動きはその後も続き21年には2万3447人と32%増、3割以上も利用者が増えていきます。コースが空いている、ゴルフをするなら今だ！といわんばかりに予約が増えたようです。22年には利用者数が平年並みに戻り、比較的空いている他のコースの利用へと流れています。ゆったりと好きなゴルフを楽しみたい、そんなチケットホルダー

ーの声が聞こえてきそうです。そして、22年以降のビジター利用者構成比は60%を超えています。移動制限が緩和されたことでドットと海外を含めたオールドコースファンが押し寄せています。それにしても急速に利用状況は改善されてきていたことが良く分かります。

セントアンドリュース全体の利用者状況

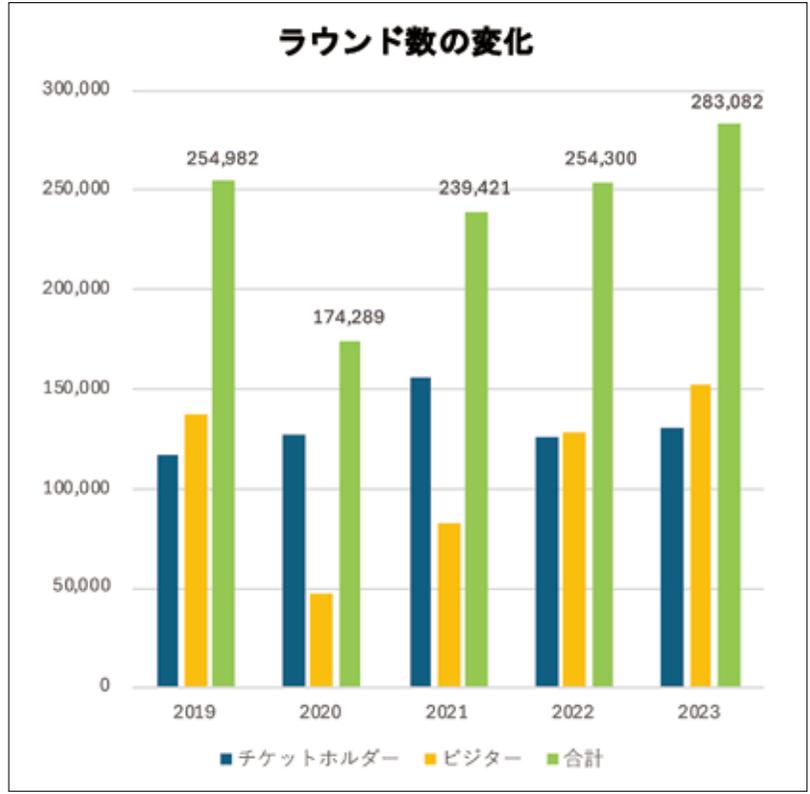
次に、セントアンドリュース・リンクス・トラストの経営状態を見ていきます。

全7コースの利用状況は、総ラウンド数で、28万3082人でした。経年で2019年以降の推移をグラフにしました。

19年は25万4982人でしたが、20年はオールドコースの数字と同じように大きく減少し、3割（31・6%）減でした。21年には23万9421人へと19年実績には及びませんが回復へと動き、22年は25万4300人とほぼ19年並みに戻りました。23年は19年を2万8100人（11

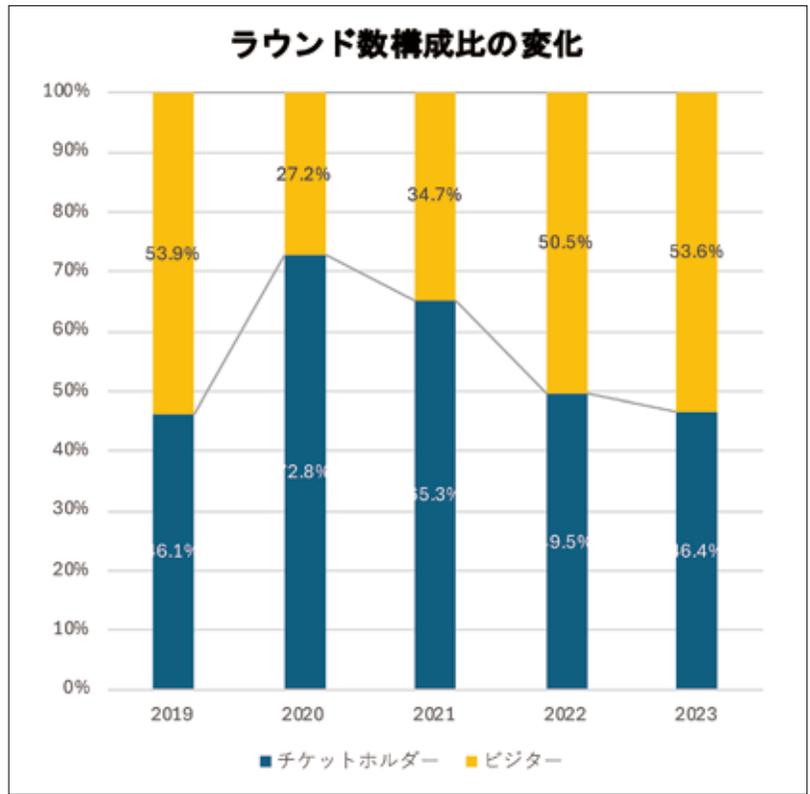
・0%) 上回る状況になっています。そして、パンデミック時はデジタル利用が激減していたことがこのグラフからもよく分かります。チケットホルダーのラウンド数は全コースでも20年、21年と連続して増えています。この状態をオールドコースで

説明しましたチケットホルダーとビジターの構成比を表したのが次のグラフです。傘下7コースの利用者数に占めるビジターの比率は19年は54%でしたが、20年は27%と半減しました。21年は35%に、22年は50%に、23年は54%と19年並みに戻っています。



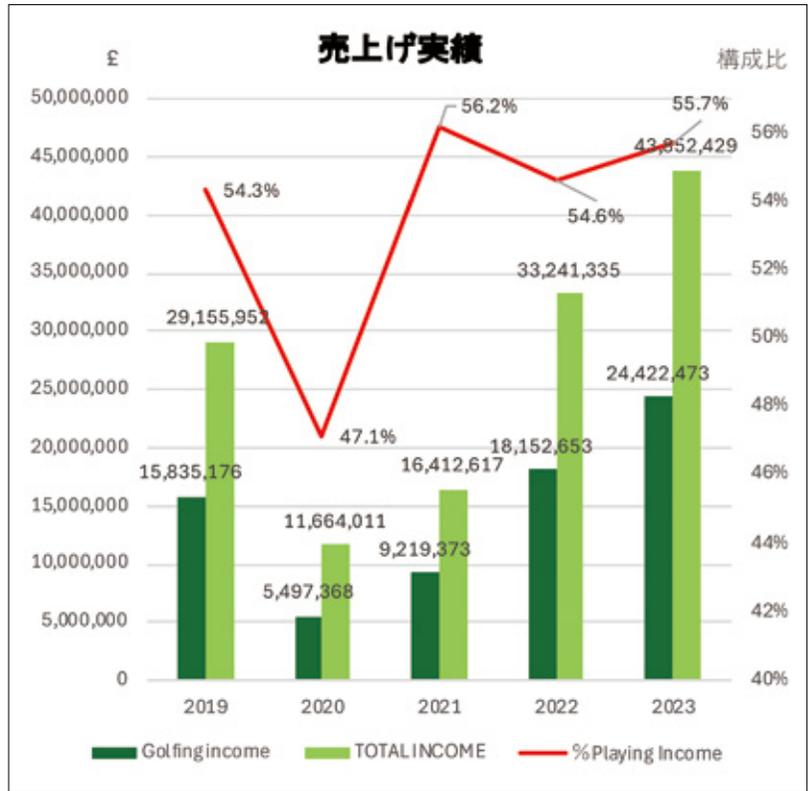
ます。
好調な売上げを持続
2022年以降の好調な利用者状況を反映して売上高も順調に推移しています。20年はさすがに総売上高が166万4011ポンドと19年

の2915万5952ポンドから1228万2914ポンドも減収になり、67.0%も売上げを落としています。翌21年は8割近い(78.9%)の増収に転じ、22年以降は利用者の伸びを上回る68.0%、34.7%の伸びを続けています。そして23



年の総売上高は4385万2429ポンドでした。ゴルフに関する売上高もグラフに示しましたが、こちらも19年の1583万5176ポンドに対して、20年は549万7368ポンドと65・3%の大幅減収、21年になると利用者数の回

復に伴い921万9373ポンドに、22年は19年の売り上げを上回る1815億2653ポンド、23年は2442万2473ポンドと大きく売り上げを伸ばしています。1ポンドは原稿執筆時(2024年11月)では約196円ですから、ゴルフ収入



●オールドコースのプレー料金

オールドコースのグリーンフィーはトップシーズン(4月15日~10月13日)が320ポンドです。現在のレートで6万2000円。トップシーズン後の10月(ショルダーシーズン)は225ポンド、それ以外のローシーズンが160ポンドです。16歳以下も同料金。

キャディフィーは、年内は65ポンド+チップですが、2025年1月1日から75ポンド+チップになります。チップの目安は35ポンドからだそうです。キャディフィーは2万円超えです。

他のコースを含め目一杯ラウンドしたい人には7 Day Ticket (690ポンド)、3 Day Ticket (345ポンド)が用意されています。どうですか。

※料金は2025年3月31日までの料金です。特に表記のない場合はトップシーズンの料金

出典：<https://standrews.com/homepage>

地図の出典：Wikipedia

は47億8300万円です。以上、セントアンドリュースの経営状態を見てきました。オールドコースはティータイムのキャパシティといったような気がします。今後は、他の6コースの利用状況次第といったところかな。

